

Maple通信

メイプルつうしん

2018.11

No.35



さくらももこさんから寄贈いただいた色紙

- 2 <追悼特集>さくらももこさんの思い出
- 3 130周年式典特集/行事紹介(中学・高校)
- 4 「未来をつかみに行く力」(中学・高校)
- 5 オープンイベント/道を拓いた人たち(中学・高校)
- 6 「すらら」を導入/新一年留学がスタート(中学・高校)
- 7 中学・高校入試日程(中学・高校)/公認心理師の養成を開始(大学・短大)
- 8 スチューデント・リトリートを振り返って/管理栄養士国家試験受験準備講座日程(大学・短大)
- 9 留学生センターだより(大学・短大)
- 10 一般入学試験日程/食物学科(大学・短大)
- 11 学院維持協力会《静岡英和フェロシップ》、BBQパーティー報告
- 12 中高同窓会
- 13 大学・短大部同窓会
- 14 寄付金等の募集について/学校主要行事表
- 15~16 新任紹介欄、人事、理事会・評議員会、寄付金



〈追悼特集〉さくらももこさんの思い出

現代コミュニケーション学科 教授 高橋清隆

1984年、昭和59年、26歳で私は「静岡英和女学院短期大学」の国文学科に新任教員として赴任しました。その同じ年に、新入生として、さくらももこさんが入学してきました。1年2組、私がクラス担任でした。

国文学科では、毎年、1年生全員が参加する大和路研修旅行という大きな行事がありました。秋に3泊4日で、奈良地方を旅行するものです。学生は、4、8名の班を作り、事前に回る所の計画を立て、4日間のうち1日は、教員が付き添うという仕組みでした。

その1日目、ほんとうに偶然にも、私は、さくらももこさんがいる班の付き添いとなり、西ノ京を巡りました。唐招提寺、薬師寺のすばらしさに圧倒されましたが、慣れないながらも、学生たちと会話しながら、秋の奈良を歩きました。途中に犬がいて、私が、あれはコーリー犬だと言うと、さくらさんは、いや違う、あれは何々だと、詳しい説明を始めました。私は犬には詳しくなかったので、さくらさんの話をしばらく聞いていました。それで、さくらさんのことは、かなり印象に残りました。研修旅行の2日目の夜に、恒例の演芸会が行われました。各班からの出し物が演じられるのです。さくらさんの班からは、さくらさんと、もう1人が出て、2人で漫才が演じられました。

何かの真似ではなく、オリジナルの台本で、みんなを笑わせていました。今の学生には、そんな才能がある人がいたのかと驚いたのですが、後から聞くと、台本は、さくらさんが考えたのだとのこと。

研修旅行のあとに、手書きのレポートを全員に提出させていたのですが、その手書きのレポートをそのまま印刷製本して、全員に配っていました。さくらさんは、イラストまで描いていて、文章も、軽やかで楽しいものでした。それは今でも残っています。

後に有名になるとは全く思っていなかったにもかかわらず、研修旅行のこれらの出来事によって、私はさくらさんのことを、記憶に残すことになりました。国文学科では、学生に卒業論文を課していました。ゼミも、卒業論文のテーマによって分けられていました。

さくらさんの研究テーマは、式亭三馬でした。江戸時代の、落語の元祖と言われる『浮世床』『浮世風呂』などの作品を書いた人物です。当時の床屋さん、銭湯での庶民の会話を写した作品で、後のさくらさんのエッセイに通じる文体です。

江戸時代は私の担当でしたので、私はゼミ担任にもなりました。

そして、さくらさんの卒業論文に目を通して、口頭試問も行

いました。卒業論文の文体も、式亭三馬並みに軽妙洒落なものでしたが、内容はしっかりしたもので、私は高い評価を出しました。今、思うと、卒業論文の文体は、やはり後のエッセイの文体でした。

卒業を控えた頃、面接をするのが慣例になっていました。それで、さくらさんの面接を行い、将来どうしますか、と尋ねると、「漫画家になりたいです」とはっきり言いました。後から、『ちびまる子ちゃん』の単行本の第1巻を見ると、すでにデビューしていたようなのですが、私は知るよしもありません。さくらさんが、漫画家になりたいと断言したので、いっそう印象に残ることとなりました。

卒業後にすぐに漫画家になったわけではなく、短い間、会社に勤めたらしいのですが、やがて漫画家一本にして、その後の活躍は、皆さんご承知のとおりです。

卒業から何年か経って、ちびまる子ちゃんが大人気になり、あのさくらさんが作者なのだとか初めて知りました。

さくらさんは、海外にまで名前が知られることになりましたが、地元静岡をとっても大切にしています。静岡駅には、さくらさんの描いた絵が繰り返し広げられていますし、静岡市役所のエレベーターに乗ると、さくらさんが作詞した歌が流れています。

代表作はもちろん『ちびまる子ちゃん』で、傑作ですが、私は、それよりも、『コジコジ』をぜひ読んでほしいと思っています。

ネタバレになるので詳しくは書きませんが、『コジコジ』の中に、主人公コジコジが台風を退散させる話が出てきます。その退散のさせ方が何ともすばらしいのです。そのような精神的レベルに達しているのかと感動します。また、ナゾ怪人のスージーさんが、三日目の夜には美女に変身する話があります。それも心にしみる話です。

8歳しか離れていません。それでも、私より早く亡くなると思ってもみませんでした。ほんとうに残念で仕方ありません。講演等はいっさい断っていたようなので、楓祭にも来てはもらえませんでした。年齢を重ねて、気が変わって、英和に来てくれるのではないかと秘かに期待していたのです。それが実現不可能になったのが悲しいです。



池田キャンパス図書館 さくらももこ追悼コーナー

特集

学院法人静岡英和学院は2007年11月25日、静岡英和学院大学の新館5F講堂「楓ホール」にて、創立130周年記念式典を挙行いたしました。静岡英和学院は、1887（明治20）年11月、当時教育の機会に恵まれていなかった女子に対し、静岡の地において高い知性と教養を与えることを目的に「静岡女学校」をルーツとしています。この女学校は、静岡メソジスト教会の日本人牧師平岩愼保の提唱に当時の静岡県令関口隆吉らの地元有力者が賛同支援し、カナダ・メソジスト婦人宣教会の積極的参加を得て創立されました。現在は、大学、短期大学部、中学校・高等学校を擁し、学生・生徒総数は約14000人を数えます。石井理事長による開式の言葉では、継承されてきた伝統を大切にしながらも時代のニーズに応える改革を今後も進めていく決意が語られました。



武藤前理事長による講演

列席者たちは、歴史の重みと静岡英和の存在感を改めて感じ、熱心に説明に聞き入っていました。式典には、吉林章仁静岡県副知事、田辺信宏静岡市長（代理）、木苗直秀静岡県教育長を始め、各界から多くの来賓の参加を得ることができました。また、200名近い学生・生徒も参加し、いつもと違った雰囲気になり、緊張しながらも母校愛を深め、盛況な式典の一端を担うことができました。式典に引き続いて、前理事長・院長・学長の武藤元昭先生により「キリスト教学校の覚悟」と題して、キリスト教信者の教職員が減少していく中、ミッションを守る難しさや教職員の覚悟について講演がなされました。菌に衣着せぬ教育現場の生のお話が展開され、聴衆は惹きつけられ、あっという間の講演となりました。武藤先生には、これまでの学院へのご尽力とお働きに敬意を表するとともに改めて感謝申し上げます。式後は、会場を同館の地下1階に移し、ティーパーティーが開催され、参加者は130周年の歴史に思いを馳せ、和やかな時を過ごしました。会場では、各種団体のトップ同士により英和についての話題を中心に歓談及び情報交換が行われ、今後の連携や事業展開にも可能性を膨らませる場となりました。ティーパーティー内では人間社会学科2年のシー・リン・ニーさん（中国人留学生）による二胡の演奏が披露され、会場に華を添えました。



静岡英和学院は、既に131年目の歩みを始めております。学院を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、各学校においてはスピーディーな変革が求められております。しかし、決して変わらぬものがあります。「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい。」（新約聖書一ルカによる福音書10章27節）130周年という節目は、学院に関わる人たちにこの学院聖句を改めて胸に刻む絶好の機会となりました。静岡英和学院は、先人たちの想いを引き継いでいる重責を感じ、学院の果たすべき役割を考へながら、131年目の教育活動を展開してまいります。OB・OGを始め、学院に関係する全ての方たちのご理解・ご協力のもと130年間歩んでくることができました。今後とも創立150年、2000年に向けて、ご指導ご鞭撻も含め、引き続きのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

武藤元昭先生が平成30年秋の叙勲で、瑞宝中綬章を受章されました。2019年1月26日（土）に叙勲祝賀会を開催する予定です。お問合せは、事務局企画部まで。
TEL: 054-262-0091

130周年記念式典特集

中学・高校



動を行い、たくさん買った物をしまし。そして、とうとうホストファミリーとお別れ。集合場所は車が到着

カナダ・スタディツアー
高校2年生は、「カナダ・スタディツアー」として修学旅行に出かけました。5月9日（水）から5月16日（水）まで、6泊8日の日程でした。本校の創立に関わるカナダを訪れ、その文化・自然・生活を体験学習して行くのが目的です。渡航初日。空港からバスでSwartz Bayへ行き、フェリーでピクトリアへ移動。生徒たちは長旅で少し疲れているようでしたが、ホストファミリーにあたたかく迎えられる、元気にホームステイを開始しました。翌日から刺激的な異文化体験が始まりました。ダンカンクリスチャーンスクールでは、授業体験や文化紹介交流を行い、ピクトリア大学の訪問では、キャンパスセンターで大学生のガイドとインストラクターのみさんの案内でキャンパスツアーを行いました。その後「花の街ピクトリア」を象徴する広大な庭園、ブッチャート・ガーデンの散策。また、キリスト教学校らしく、ピクトリア・クリスチャン・リフォームド教会での礼拝に参加。あたたかく迎えていただき、カナダ国歌「O Canada」、[Angels Carrol]の2曲の合唱を披露し、大きな拍手をいただきました。更に、ピクトリア市内での班別研修。ダウンタウンで自由行動を行い、たくさん買った物をしまし。そして、とうとうホストファミリーとお別れ。集合場所は車が到着

行事紹介



カナダでの滞在はあっという間に終わりましたが、たくさん思い出を胸に静岡へと向かいました。

イングリッシュ・キャンプ

5月10日（木）・11日（金）の1泊2日の日程で、朝霧野外活動センターを研修地として、ネイティブ・スピーカーの講師を3人迎えて、中2のイングリッシュキャンプを実施しました。普段、教室でぎこちなく話している英語ですが、泊まりがけのリラックスしたムードの中で、ずいぶん滑らかに生徒の口から英語が出てきました。活動は、バスの車中から始まり、Useful Phrasesの練習と英語クイズ、主の祈りを英語で暗唱しました。

センターに到着後は、英語ゲームで身体を動かしてネイティブの講師と交流。そして英語劇の台詞暗唱。更に表情、ジェスチャーを交えた表現練習をする生徒の様子には真剣になっていきました。二日目は、前日の夕方作ったエコバッグのデザインを英語でプレゼンしました。また、最後に全員で作りに上げる英語劇の発表を行いました。人前で英語を使う緊張した状況の中でも生徒たちは、精一杯自分を

表現していました。
講師の先生方からも、生徒のマナーと笑顔と挨拶の良さについてお褒めの言葉をいただき、生徒がたくさん問いかけたのを大変喜んでくれていました。



花の日礼拝・訪問

6月16日に「花の日礼拝」を行いました。「花の日」は、子どもの日の礼拝に花を持ち寄ることが、19世紀のアメリカから次第に世界に広まったものです。

朝、生徒たちが家庭から持ち寄った色とりどりの花が、宗教委員によって礼拝堂のステージの前に飾られました。バラやひまわり、あじさいなど、たくさんのお花でいっぱいになり、礼拝堂はよい香りに包まれました。

ゴスペルハウス静岡のケント・エデフォス牧師から、「イエス様の愛の手」と題したお話があり、「花を持って施設訪問に出かけて感謝の気持ちや愛を伝えてください。多くの人々に希望をもたらしものになりましょう」と生徒たちに語りかけられました。

生徒たちからの献金も行われました。災害への義援金として寄付されます。

この日の午後、生徒たちは集められた花を持って、近隣の社会福祉施設や児童養護施設などを訪問



しました。「隣人を愛せよ」Love Your Neighborを建学の精神とする本校では、このような活動を通して、優しい、思いやりの心を養っています。

体育祭

6月7日(木)草薙総合体育館の「このはなアリーナ」で、体育祭が開催されました。

本校の体育祭は、中学1年生から高校3年生まで学年対抗で競われます。

最初の競技は恒例の長縄飛び。回数というより速さを競う8字飛びの後、大きな声を出しタイムを合わせる全体飛び。これまでの練習の成果を発揮！担任の先生もピタリと寄り添って、クラスの団結力が試される種目です。

今年初めて行われたのは、棒やマットを取り合う「バーゲンセール」という競技。フロアのあちこちで激しいバトルが展開されました。

午前の最後は「学年応援披露」。学年ごとに他学年にエールを贈り合い、体育祭にかけの意気込みを歌やダンスでアピール。初めての体育祭となる中1には先輩たちから優しい応援歌が、高3には後輩から尊敬する先輩たちに向けてメッセージが伝えられました。そして、これが最後の体育祭となる高3は、

先生方への感謝を心のこもった歌で伝えました。

午後は恒例の高3による楽しいパフォーマンスからスタート。英和の体育祭で最も過酷な競技「ダシニング玉入れ」など、バラエティに富んだ競技が行われ、体育館は熱気であふれていました。その一方で、慣れない中1を先輩たちがさりげなくサポートしてあげている様子も随所に見られました。

FINALリレーは各学年16人が出場します。最後の種目として生徒たちの興奮は最高潮！スタンドからも大きな歓声が巻き起こりました。そして結果は・・・2位の高2に大差をつけて高3が優勝！これまで3年連続で準優勝でしたが、見事悲願を達成し、有終の美を飾りました。



「未来を つかみに行く力」

本校は、一八八七年(明治二十年)創立以来、常にキリスト教に基づく「愛と奉仕」の教えを実践できる女性の育成に取り組んできました。その建学の精神を堅持しつつ、現在の本校は「これからの社会で必要とされるさまざまな力が身につく学校」としての存在意義をより鮮明にしようと動き出しています。

さて、本校の進学実績を報告します。大部分の生徒が四年制大学の進学を考え、多くの生徒が第一希望の進学先に合格しています。進学準備中(浪人)の生徒は、過去三年でも数名です。「第一希望校の現役合格」その実現率が極めて高いことが、本校の進路指導の特徴です。

今年度も卒業生の過半数が、国立公立大学のお茶の水女子大学や筑波大学をはじめ、青山学院大学などの有名私立大学に進学しました。また、減免制度がある内部推薦の制度を利用するなど静岡英和学院大学・同短期大学部に進学した生徒が八名います。

校内の学習指導については、放課後の補習・補習が充実しています。授業内容を習得状況に合わせて、一人一人に対応した手厚い指導がベテラン教師陣によって行われています。これは、単にテスト対策としての知識習得ではなく、生徒の生活上の相談や指導の場としても機能しているようです。今年度よりICT教育をより充実させるために、学力中間層を主な対象としたデジタル教材「すらら」が導入され、好評を博しています。

社会が求める教育のあり方は、国際状況と同じく急激に変化しつつあり、特に英語教育の変容には著しいものがあります。本校では定評のある英語教育について更なるステージへの構築を力強く推進しています。

「英語のE I W A !」が目指すもの。それは、英語コミュニケーション能力の育成、実用英語の習得です。そのことを期待して英語に興味関心のある生徒が、本校を受験する割合が増加傾向にあります。中学受験では受験科目に英語を導入し、英語特待制度を設けています。この制度では、出願時に実用英語技能検定(Ⅱ英検)四級以上の取得者は「入学料」が無料となります。高校受験では、英検準二級以上の取得者、または、中学校の代表としてスピーチコンテストに出場した生徒は「入学検定料」が無料となります。英語コミュニケーション能力の育成に資する豊富な語学研修(イングリッシュ・キャンプ、カナダ・台湾修学旅行、イングリッシュ・セミナーなど)・留学制度(ニュージーランド・カナダ留学など)も本校の大きな特色です。もちろん、大学入試で英語受験科目として扱われることがますます予想される英検についての指導も徹底しています。

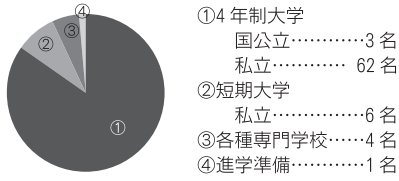
本校は生徒中心主義です。生徒の自主性を重んじ、人間同士のつながりを大切に、自らの力で未来をつかみに行く生徒が育っています。そして、校内は生徒の日々の成長が確認できる明るく楽しい場です。是非、卒業生のお嬢様を始め近隣の方々に、本校をお勧めください。高校募集も軌道に乗り、今年度は二十名の生徒が入学しました。次ページで確認できます。おり、指定校推薦も充実しています。是非、本校を多くの方々にご紹介ください。静岡英和女学院中学校・高等学校の魅力と最新情報は、ホームページで詳しく紹介しています。ホームページでは、生徒の学院生活の様子をとらえた動画も配信中です。また、同窓会の活動のページもご覧ください。

今後とも本校の教育活動にご協力いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

◎指定校推薦枠

青山学院大学(20) 関西学院大学(10) 国際基督教大学(1) 麻布大学(1) 桜美林大学(7) 神奈川大学(3) 金城学院大学(10) 神戸女学院大学(2) 白百合女子大学(5) 成蹊大学(3) 成城大学(1) 聖隷クリストファー大学(3) 玉川大学(19) 鶴見大学(1) 東京女子大学(5) 東京女子医科大学(1) 同志社大学(1) 東洋大学(1) 東洋英和女学院大学(11) 日本女子大学(2) フェリス女学院大学(5) 法政大学(1) 明治学院大学(2) 立命館大学(1) 立命館アジア太平洋大学(3) 他多数

◎進路状況 (2018年3月卒業)



◎2018年度大学合格実績 (現役のみ)

筑波大学	1名	東京音楽大学	1名
お茶の水女子大学	1名	東京女子大学	4名
静岡大学	1名	東京女子医科大学	1名
静岡立大学	2名	フェリス女学院大学	1名
青山学院大学	8名	藤田保健衛生大学	1名
国際基督教大学	1名	明治学院大学	3名
成蹊大学	2名	外国語大学	2名
聖路加国際大学	1名	日本外国語専門学校	1名
津田塾大学	3名	Humber College 大学附属語学学校	1名

オープンイベント
カレンダー

小学生、中学生の皆さんが参加できる英和のオープンイベント一覧です。多くの方々の参加をお待ちしています。

英和祭(文化祭)

9/8(土) 10:00~16:00
英和のクラブの一大イベント。ステージに、そして展示に英和生が輝きます。「来て・見て・楽しんで」いただけるイベントです。

授業公開日(中学生対象)

10/6(土) 10:00~12:00
中学生を対象に授業公開を行います。*事前申し込みは不要ですので、当日ご来校ください。

中学入試説明会

10/20(土) 11/2(金) 9:11~11:00
11/17(土) 13:00~15:00
11/17(土) 13:00~15:00
9/30~11/30
「これでバッチリ!入試対策」
●入試フロンティアアドバイス
(筆記試験、面接試験)
●入学願書の書き方

高校紹介・高校入試説明会

12/1(土) 9:00~12:00
筆記試験、面接試験など入学試験についてご質問いただける個別の相談会です。

個別相談会(高校入試)

12/22(土) 17:30開演
神の独り子イエス・キリストの誕生を祝うクリスマス。
キャンドルの光を灯しながら、平和を祈るひとときを共に過ごしましょう。英和が最も大切にしている行事のひとつです。

学校クリスマス

12/22(土) 17:30開演
神の独り子イエス・キリストの誕生を祝うクリスマス。
キャンドルの光を灯しながら、平和を祈るひとときを共に過ごしましょう。英和が最も大切にしている行事のひとつです。

*英和キッズスクール(EKS)

他にも対象・小学生女子児童会員だけの体験講座やメールマガジン配信中。いつでも加入できます。詳しくはHPまで。

道を拓いた人たち

一、建学の精神

静岡英和女学院は、一八八七(明治二〇)年、カナダのメソジスト教会より宣教師が遣わされ、この葵区西草深の地に、静岡で最初の私立女学校として「日本女性の教養を高めるためには女子教育が必要である」との考えから建学されました。初代校長のミス・マーサ・ジャネット・カニングハム先生は、カナダ大西洋岸のノバスコシア半島のハリファックス市出身で太平洋側のバンクーバーまでの大陸横断鉄道と汽船パシチャー号に乗船して静岡に赴任されました。神様の御心によって献学されたことになる学校のミッションを考えたことでしょうか。Missionとは使命という意味と遠くに遣わすという意味があり、正に、カニングハム先生は遠く離れた異国の地に派遣され、日本人女性の教育への情熱と叡智を捧げられたのです。カニングハム先生は静岡県における教育の先駆的な役割を果たされました。その築かれた礎を、二十一世紀の今の時代にも継承するミッションを私たちは担っています。

二、特色ある教育

私立学校である本校は教育の充実と経営基盤の安定により、県民の負託に応える責務があります。英和学、英和女性学、大あるいは静岡ツーリズムビューローとの連携講座や受験英語を超えた実践英語など、特色ある教育に期待を寄せて入学する生徒が増えています。



「英和女性学の研究発表」
要旨を募集し、国連提唱テーマ討論
「英和女性学の研究発表」
要旨を募集し、国連提唱テーマ討論

英和学の英は、英語教育を中心とした第二外国語も学べる語学教育、和は日本人としてのアイデンティティーを醸成する和文文化体験から構成されます。英和女性学は女性の社会貢献、男女共生社会等について考え、二〇一八年度より静岡市と連携しながら国連が定めた持続可能な十七の目標SDGsの研究をスタートさせました。教育、経済成長と雇用、持続可能な都市と平和について研究し、静岡市のまちづくりを行政とともに考える積極的な試みを行っています。特に静岡市の有識者会議において研究した内容を発表することができたことは生徒たちの思考力、分析力、創造力と発表力を向上させる良い機会となりました。毎年入学時に行っている新入生と保護者アンケートではこれらの特色ある授業や講座に大きな期待が寄せられており、静岡英和女学院ならではの特色ある授業と講座となっています。

特色ある教育となっています。文部科学省が推奨する私立大学等改革総合支援事業では、タイプ1として教育の質的転換、タイプ2として地域発展、タイプ3は産業界・他大学等との連携、タイプ4はグローバル化を挙げ、高等教育全体の質の向上には、大学の約八割を占める私学の改革が急務であり、これらタイプ1~4の四つの支援策を有効に活用する必要があります。本校では高等教育改革と連動する形で、中高の教育改革を積極的に推進し、今後の高等教育を見据えた教育の特色化を展開しています。前述の特色ある授業や講座はこれらタイプ1~4の四ついずれかに関連をもたせています。さらに、入学から卒業までの学修成果を可視化する教育のマネジメントも実践していきます。

三、生徒との昼食会
本校では校長と生徒たちとの昼食会を年間四十回以上開催しています。生徒理解と学校理解の両方の側面を持ちながら、生徒の自主性と自立性を促し、教職員にとっては、保護者目線あるいは生徒の興味関心に寄り添う皮膚感覚での学校運営に役立っています。生徒たちがどんな考えで、学校への期待や要望を抱いて生活しているかなど、教職員にとっては日頃気づかない事柄を生徒たちと共有できることは、ビッグマリオン効果の点においても大変重要な機会ではないかと考えています。冬場の冷え切ったトイレに入り



また、静岡大や静岡ツーリズムビューローとの連携も、本校ならではの特色です。

たくない、校舎からグラウンドに行き来する際の自動車が危険、傘の雨水が廊下や階段に漏れてすべりやすい、授業をもっと分かりやすくしてほしい等の要望を聞き入れ、トイレの暖房便座設置、道路脇にミラーを取り付けて、危険察知、雨滴除去器の設置や授業改善へと結びつけていきます。



校長先生と昼食 弾む会話

文化祭、運動会、朝やかに

四 むすびにかえて

理事長方針である「一三一年目のスタート」静岡英和学院の未来に向けて、「一」にあるように、財務基盤の確立と学院の将来像にむけて、大学・短期大学と連携しながら、教育の充実と経営強化に邁進したいと考えています。

今一度建学の精神に立ち戻り、神様から与えられた尊い命と神様からの愛を、どのように生かすことができるのかと自問自答することができるといい。自分のレゾン・デートの礎を静岡英和女学院で築いてほしいと願うものです。生徒の未来は私たち中高の教職員の未来そのものであります。

イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。あなたがたはわたしを知っているなら、わたしをも知ることになる。今から、あなたがたは、父を知る。いや、既に父を見ている。」マタイによる福音書十四章六、七節。

先進的なeラーニング教材「すらら」を導入

本校では中二から全員が「すらら」(タブレット端末)を授業や家庭学習で活用しています。今年度より、中二・中三・高一で「すらら=Strata(Super Rapid Accumulation of Lasting Abilities)」を導入し、家庭学習を中心に活用が始まりました。学校で設定した課題を、それぞれが都合の良い時に、校内または自宅で、期限を守って学習します。高二・高三は、スタディサプリを使用しています。

「すらら」はインターネットを通して英語・数学・国語の三教科に対応した個別対応型eラーニング教材です。レクチャー(解説)、ドリル、テストの3部構成です。個々の生徒の理解度に応じて、レクチャーを繰り返して受講したり、レクチャーを省いてドリルに取り組みむこともできます。レクチャーでは楽しいアニメの先生が生徒に質問し、生徒はこれに答えながらスモールステップで理解を進めます。英語はネイティブスピーカーの発音です。ドリルは問題の正答率から個々の生徒の達成度を自動的に判断し、六万問以上の問題からちょうど良いレベルの問題が話題される「難易度コントロール」機能、生徒の誤答を分析し、学習が不十分なスキルを特定し、学年や分野を越えて廻り、確実に習得させる「つまずき分析」機能(特許)を備えた、文部科学大臣賞、日本eラーニング大賞を受賞した教材です。英検対策、数検対策、大学入試等のコースもあり、それぞれの目標を目指した先取り学習も可能です。例えば、中一の希望者は、英検三級(中学卒業程度)・準二級(高校二年程度)の合格を目指して受講しています。

学力診断テストは、瞬時に採点され、同時に弱点と復習すべき項目の課題が示され、これを学習することです。基礎学力が補強されることで、「楽しい!」「もっとやりたい!」という肯定的なものも多く、デジタルネイティブ世代に適する教材と言えそうです。自分が気付かなかった弱点を知り、そこを集中的に復習して克服できることは、学習意欲の向上につながります。「すらら」の学習により家庭での学習が一層充実し、基礎学力がより確実なものとなるよう期待しています。また、本校のイベントに参加した本校受験希望者(小・中学生)には已に無料で配付し、受検勉強を基礎学力のさらなる強化を図っています。



学力診断テストは、瞬時に採点され、弱点項目と課題が示されます。



解説は、先生の質問に答えながらスモールステップで進みます。



すららの学習メニューに加え、英検・数検コース等もあります。

無料です。また、本校のイベントに参加した本校受験希望者(小・中学生)には已に無料で配付し、受検勉強を基礎学力のさらなる強化を図っています。

新一年留学がスタート

本校は、短期留学(夏・春)、メイトプログラム(中学ニュージーランド三か月留学・高校カナダ姉妹校五か月留学)、一年留学、中学の台湾スタディツアー(修学旅行)、高校のカナダスタディツアー(修学旅行)、ネイティブ英会話教員二名の配置等、国際交流の機会の豊富さが大きな特色の一つとなっています。これまで、一年留学はカナダの姉妹校四校との交流を中心に実施して来ましたが、これに加え、新たに共学校にホームステイで通学する「新一年留学」制度を開始しました。一年留学は認定留学の場合、三年間で本校の高校を卒業することができます。

カナダのビクトリアの閑静な住宅街に位置するカトリックの私立共学校セントアンドリュース高校に高二の二名が昨年の九月から留学し、七月に帰国しました。当初はすべて英語の生活、すべて英語の授業で、コミュニケーションもままならず苦労しましたが、放課後も学校に残って学習を続け、二

人とも好成绩を収めることができました。現地校から、今後もし英和生を送ってもらいたいとの嬉しいお言葉もいただきました。現地校では先住民に対する差別政策の歴史を振り返り、ディスカッションを経てプレゼンテーションを行ったり、ボランティア活動でホームレスの方々の支援に参加し、高二のカナダスタディツアーの生徒たちと呼びかけ、衣類や日用品を寄付する等、カナダの授業や社会の中でも英和の建学の精神を大いに発揮し、内面的にも大きく成長して帰国しました。



セントアンドリュース高校にて

カナダ・プリティッシュ・コロネビア州・ビクトリア/ケロウナ
2017年9月～2018年6月

静岡英和女学院高等学校
新カナダ1年留学

NEW!

Claremont Secondary School ビクトリア公立共学校
Aberdeen Hall Preparatory School ビクトリア私立共学校
St. Andrew's Regional High School ビクトリア私立共学校

新カナダ1年留学とは?

9月26日(月)4:20 留学説明会(礼拝堂)
Maple Program・姉妹校留学に加え、新たな留学先をご紹介します。

昨年度の説明会のお知らせ

2019(平成31)年度 中学入試日程

A日程

出願期間	2018年12月13日(木)～12月20日(木) 9時～12時 13時～16時
試験日	2019年1月12日(土) 単願(定員120名) スポーツ特待受験はA日程のみ
検定料	A日程・B日程とも15,000円 両方受験する場合、B日程は無料
合格発表	2019年1月13日(日) 当日の校内掲示13時～16時、HP上での発表は16日(水)の16時まで
入学関連書類配布	2019年1月13日(日) 13時～16時 本校事務室 ※当日来校できない場合は郵送 ※入学手続き時の納入金振込期限:1月16日(水)

B日程

出願期間	2019年1月16日(水)～1月25日(金)
試験日	2019年1月26日(土) 併願可(定員若干名)
検定料	15,000円
合格発表	2019年1月26日(土) 14時にHP上のみで発表 29日(火)の16時まで
入学関連書類配布	2019年1月28日(月) 9時～12時 本校事務室 ※入学手続き時の納入金振込期限:1月30日(水)

特待制度・奨励補助制度

特待生	入学料210,000円の納入免除+月額授業料の内23,000円から公的助成金を除いた額を1年間奨励学金として免除	内申に加え、当日の学科試験、面接を総合して判断
準特待生	入学料210,000円の納入免除	
英語検定4級以上の取得者	入学料210,000円の納入免除	出願時に英語検定4級以上の取得証明書を提示
数学検定4級以上の取得者	入学料210,000円の納入免除	出願時に数学検定4級以上の取得証明書を提示
スポーツ特待制度	入学料210,000円の納入免除	新体操・バスケットボール・バドミントン・テニス(硬式・軟式不問)
奨励補助制度	在校生の姉妹、同窓生の子女と姉妹を対象	

※試験科目等の詳細はホームページをご覧ください。

2019(平成31)年度 高等学校入試日程

出願期間	2019年1月28日(月)～1月29日(火) 9時～12時 13時～16時
試験日	2019年2月5日(火) 定員120名(但し、併設中学校からの進学者を含む。) 追検査 2019年2月12日(火)
検定料	15,000円 免除 (1) 出願時に、英語検定準2級以上又は同等の資格取得者 (2) 中学校在籍時にスピーチコンテスト等に学校代表で出場した者又は同等の成績を修めた者
合格発表	2019年2月15日(金) 正午にHP及び校内に掲示、発表
入学手続	単願者 2019年2月18日(月)～2月21日(木) 9時～12時 13時～16時 併願者 2019年3月14日(木)～3月16日(土) 9時～12時 13時～16時 ※ただし16日(土)は9時～12時のみ受付

特待制度・授業料等減免制度

特待生	入学料150,000円の納入免除+月額授業料の内23,000円から公的助成金を除いた額を1年間奨励学金として免除	内申に加え、当日の学科試験、面接を総合して判断
準特待生	入学料150,000円の納入免除	
スポーツ特待制度	入学料150,000円の納入免除	新体操・バスケットボール・バドミントン・テニス(硬式・軟式不問)
授業料減免制度	在校生の姉妹、同窓生の子女と姉妹を対象	

大学・短大部

公認心理師になるためには、公認心理師の資格を取得するために国家試験(公認心理師試験)に合格しなければなりません。その受験資格の取得にはいくつかのルートがあります(詳細は厚生

労働省のホームページ内にある公認心理師のページをご覧ください)。既存の資格(臨床心理士)では、受験資格を得るために大学院修士課程を修了する必要があります。反面、大学での履修状況は問われませんでした。これに対して公認心理師の場合は、大学を卒業後2年程度の実務経験を積んだ者にも受験資格が与えられる代わりに、大学で履修しなければならぬ科目が指定されている点が大きく異なります。

公認心理師の活躍が期待される分野

公認心理師が活躍を期待されている主要な分野は5つあります。保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、そして産業・労働分野です。これらの分野では従来から心理の専門家がさまざまな形で貢献してきましたが、包括的な資格が存在しませんでした。今回公認心理師という国家資格が誕生したことによって、心理的支援の専門職に共通の資格が与えられ、活躍の機会が一層拡大すると見込まれています。

公認心理師の養成を開始

人間社会学部長 波多野純

本学のカリキュラム

本学では公認心理師カリキュラムに対応するために、既存の心理メジャーの科目を一部変更し、さらに新たな科目を追加しました(下表)。その中でも、実習科目(心理実習)は、これまで心理メジャーになかった実践的な科目となっています。心理実習では、精神科の病院や学校・福祉施設、矯正施設等で心理的支援の現場を体験する科目で、学生にとっては貴重な経験を積み、学習意欲を刺激される学びになると期待されています。今後は社会人の学びなおしの対象としても公認心理師は注目を集めるでしょう。関心のある卒業生はぜひお問い合わせください。

本学の公認心理師関連科目

公認心理師の職責	感情・人格心理学	福祉心理学
心理学基礎(心理学概論)	神経・生理心理学	教育・学校心理学
臨床心理学概論	社会・集団・家族心理学	司法・犯罪心理学
心理学研究法	発達心理学	産業・組織心理学
心理学統計法I・II	障害者・障害児心理学	人体の構造と機能及び疾病
心理学実験I・II	心理的アセスメント	関係行政論
知覚・認知心理学	教育相談(心理学的支援法)	心理演習
学習・言語心理学	健康行動学(健康・医療心理学)	心理実習
精神保健論(精神疾患とその治療)		

スチューデント・リトリートを振り返って

人間社会学科講師・宗教主任 大坪哲也

宗教主任の大坪哲也です。今年も開学以来の伝統行事となっているスチューデント・リトリートが、天城山荘に一泊二日の日程(短大4月14～15日、四大4月15～16日)で行われました。リトリートはいつも入学式を終えて間もない四月中旬頃に行われています。学生の皆さんが大学に入り、新しい仲間たちと最初に触れ合う機会を大切にしているからです。始めは緊張と不安もあったことでしょう。けれども大きな食堂で共に食事をし、自由時間に先輩や学科を越えた同級生たちと触れ合うなかで、そんな緊張もすぐにとけていったようでした。帰りのシャボテン公園では、すっかり打ち解けた学生たちが楽しそうに記念写真を撮っていました。礼拝では、学生たちがキャンドルサーブスをとても喜んでくれたことが、励みとなりました。暗がりのなかを学生たちが隣の人に自分の火を灯しながら、建学の精神について学び、上級生たちが関わってきた福祉ボランティアの話熱心に聴いていた様子印象的でした。また引率の上級生たちがリトリートに協力して、後輩たちに母校愛を伝えてくれ

たことが、リトリートの成功につながったのだと思います。スチューデント・リトリートは、学院での学びの出発としてとてもよい機会になっています。これからもこの英和の伝統行事を大切にしていきたいと思っています。2018年度は、宗教委員会

の先生方と祈りを合わせて、学院の教育向上とキリスト教精神の具現化に努めていきます。建学の精神はなにもキリスト者だけに限られたものではありません。他者を尊重し、社会に奉仕できる人間となるのは、大学生のあいだに身につけなければならぬ最も大切な目標であると思います。そのためには、「隣人を自分のように愛せよ」という聖書の言葉が不可欠です。感性の豊かな多感な時期に、友人を思いやり、人間が作り出す社

会を愛し、時に辛いことや裏切られることがあったとしても、決してあきらめずに自分の隣人を愛し続ける精神を、聖書の中から学んでください。愛を知ることが大きく成長できるので、皆さんがこの学院で学ばれるなかで、高い問題意識をもって学問を追求し、将来につながるための専門性を身につけ、豊かな人間性を育んでいかれることを切に祈っています。



2018年度管理栄養士国家試験 受験準備講座 日程のご案内

本学 食物学科卒業生の皆さん、お元気にお過ごしのことと思います。管理栄養士の資格取得を目指す卒業生の方々に、「管理栄養士国家試験 受験準備講座」のご案内です。本年度も、8月に講義を行い、10月、1月に模擬試験を行います。(結果は各自に郵送されます。)

管理栄養士の資格を取得して、お仕事の幅をさらに広げてみませんか。この機会にぜひ本講座にご参加ください。

講義		模擬試験		
日程	内容および担当者(敬称略)	日程	内容	
8月25日(土)	10:00~10:45	10月28日(日)	10:00~12:30	模擬試験1回目(RDC第33回2回目の問題) (社会・環境と健康 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 食べ物と健康 基礎栄養学 応用栄養学)
	10:50~11:35		13:45~16:20	模擬試験1回目(RDC第33回2回目の問題) (栄養教育論 臨床栄養学 公衆栄養学 給食経営管理論 応用力試験)
	11:40~12:25	1月12日(土)	10:00~12:30	模擬試験2回目(RDC第33回3回目の問題) (社会・環境と健康 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 食べ物と健康 基礎栄養学 応用栄養学)
	12:25~13:10		13:45~16:20	模擬試験2回目(RDC第33回3回目の問題) (栄養教育論 臨床栄養学 公衆栄養学 給食経営管理論 応用力試験)
	13:10~13:55		10:00~12:30	模擬試験2回目(RDC第33回3回目の問題) (社会・環境と健康 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 食べ物と健康 基礎栄養学 応用栄養学)
	14:00~14:45		13:45~16:20	模擬試験2回目(RDC第33回3回目の問題) (栄養教育論 臨床栄養学 公衆栄養学 給食経営管理論 応用力試験)
	14:50~15:35		10:00~12:30	模擬試験2回目(RDC第33回3回目の問題) (社会・環境と健康 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 食べ物と健康 基礎栄養学 応用栄養学)
15:40~16:25	13:45~16:20	模擬試験2回目(RDC第33回3回目の問題) (栄養教育論 臨床栄養学 公衆栄養学 給食経営管理論 応用力試験)		

- ★会場：静岡英和学院大学 S203教室 *日程などは、都合により変更になることがあります。
- ★対象：静岡英和学院短期大学 及び 静岡英和学院大学短期大学部 食物学科卒業生
- ★定員：50名
- ★申込方法：食物学科ホームページ(<http://eiwagp.shizuoka-eiwa.ac.jp/segu-fs/>)からお申し込みください。
- ★受講料：無料(模擬試験に関しては下記を参照して下さい)
- ★申込期間：2018年6月18日(月)~2018年8月7日(火)
- ★模擬試験(RDC模試)の受験料は、どちらか1回のみの場合4,550円、2回受験の場合8,100円です。(2回受験した場合は、特典付きです。申し込みについては下記をご覧ください)
- ★模擬試験受験料は、8月25日(土)の講義の際に集金しますので、おつりのないようにご用意をお願いします。(希望者が10名以上の場合のみ実施します。)
- ★問合わせ：〒422-8545 静岡市駿河区池田1769
静岡英和学院大学短期大学部 食物学科
管理栄養士国家試験 受験準備講座 係 担当：小鹿
054-264-9480 (TEL/FAX) 054-261-9201 (代表)

- ★受講種別は、1.講義、2.模擬試験、3.両方のどれかをご記入下さい。
- ★模擬試験当日に欠席の場合は、試験問題一式を着払いにて郵送いたしますので、受領の際には各自お支払ください。
- ★RDCの模擬試験の申し込みについて
- ★模擬試験はRDC (<http://www.rdonet.jp/>)の学校開催模擬試験(第2回および3回)を申し込み予定です。なお、学校開催は受験者数が10名以上となっておりますので、2018年6月18日(月)~2018年8月7日(火)の申込期間中に10名に達しなかった場合は行わない場合があります。
- ▶講座を申し込まれていない方、またはこの日に欠席される方は、10月12日(必着)までに現金書留で申し込み先まで、受験料の郵送をお願いします。
- ▶受験料郵送先
〒422-8545
静岡市駿河区池田1769
静岡英和学院大学短期大学部 食物学科
管理栄養士国家試験受験準備講座 小鹿 宛
(模擬試験受験料在中)とお書き下さい。

留学生センターだより

留学生センター長
磯貝信一



本学は今年度も多くの新入学留学生を迎え、新しい年度のスタートを切りました。留学生たちが勉学を中心とした充実した学生生活を送ることができるよう、留学生センターでは本学の教職員と連携しながら、相談業務、在留資格手続き、日本語講座の開設、学生交流イベントの企画等、留学生のサポートに取り組んでいます。

本学の留学生の出身国は、人数の多い順番で挙げますと、ベトナム、中国、ミャンマー、ネパール、スリランカ、インドネシア、バングラデシュ、フィリピンの8か国となっています。中国などの漢字文化圏以外からの留学生は、まず、漢字の習得が受講の際にも壁になります。日本の文化の理解を深めながら、こうした困難を克服しようと努力しています。また、日本の文化の理解と共に、母国の文化を紹介する国際交流活動にも力を入れています。以下に今年度の活動の一部を紹介いたします。

*** 日本文化を学ぶ活動**

・6月に華道体験を行い、参加者はフラワーアレンジメント

の作品作りに挑戦しました。参加した学生は、講師の華道の先生から教わりながら、体験を通じて日本文化の一端を実感したようです。

*** 学生交流・地域国際交流活動**
・4月に新入生との交流会を開催しました。大勢の学生が来場し、学生同士の交流が深まりました。

・静岡県知事から委嘱される「ふじのくに留学生親善大使」に、今年度は本学から6名の留学生が任命されました。親善大使となった留学生は、静岡県の国際交流活動に積極的に携わっています。

・7月の静岡県民との交流イベント「アースカレッジ2018」(静岡県国際交流協会主催)に、本学から6名のふじのくに留学生親善大使が「ふじのくに留学生親善大使とおしゃべりしませんか?!」という講座の講師を務め、母国の文化を紹介しました。

・「アースカレッジ2018」には、本学留学生センターの学生スタッフも、初の試みとして参加し、「世界のお正月を体験しよう」という企画で、ミャンマー、中国、スリランカ、日本のお正月をそれぞれ

紹介しました。体験も交えた企画で、小さなお子さんから年配の方まで多くの人が参加しました。



ふじのくに留学生親善大使委嘱式に出席した留学生たち



「アースカレッジ2018」に本学留学生センター学生スタッフが参加。企画等も自分たちで。

*** 留学生日本語弁論大会**

・7月15日(日)に静岡市のグランシップで開催された「第15回留学生日本語弁論大会静岡県大会」に各大学から5か国9名の留学生が出場しましたが、本学から3名の留学生が出場しました。熱い弁論を競う中、本学の人間社会学科4年生のテイティ トゥエゾーさん(出身国:ミャンマー)が優秀賞(第2位)を受賞し、同じく人間社会学科4年生の烏徳巴拉さん(出身国:中国)が奨励賞(第3位相当)を受賞しました。

本学の留学生数は年々増えており、多方面の支援が必要になっています。留学生センターは今後も留学生の学生生活をサポートしていきますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。留学生たちが、本学で、かけがえない多くのことを体験し、学び、充実した学生生活を送ることができるように願っております。



「第15回留学生日本語弁論大会静岡県大会」に出場した9名の留学生

2019年度 一般入学試験日程

静岡英和学院大学

	出願期間	試験日	入試科目	合格発表	入学検定料
一般入試A日程	1月7日(月)～ 1月23日(水)	1月31日(木)	国語(近代以降の文章) 及び英語	2月8日(金)	30,000円
一般入試B日程	2月18日(月)～ 3月11日(月)	3月16日(土)	人間社会学科：国語(近代以降の文章)及び英語 コミュニティ福祉学科：国語(近代以降の文章)又は英語から1科目選択及び面接	3月19日(火)	30,000円

静岡英和学院大学短期大学部

	出願期間	試験日	入試科目	合格発表	入学検定料
一般入試	1月7日(月)～ 1月23日(水)	1月31日(木)	国語(近代以降の文章)又は英語のいずれか1科目選択	2月8日(金)	30,000円

※英語ではリスニングテストを課しません。

※入試についての詳細はホームページ (<http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/admissions/>) を御覧ください。

※お電話でのお問い合わせは、054-261-9322(静岡英和学院大学入試センター)まで。

※入試要項・願書等は右記のQRコードから請求できます。(資料請求は無料です。)



食物流学

食物流学では、「食と農の連携」を学科の特徴のひとつとしています。

本年度は、その一環として「商売開発論」にて、オリジナルドレッシングの開発を行いました。材料は、静大農場で栽培している「キウイフルーツ」です。この授業では、栽培から製品化されるまでの一連の行程を学ぶことができます。学外学習として、静大農場での講義やキウイ圃場見学を行いました。その後、本学にてグループワークを数回実施し、班ごとに考案したキウイドレッシングを作りました。「キウイの韓国風ドレッシング」、「さっぱり！キウイとタマネギのおろしドレッシング」、「モッツアレラチーズのキウイドレッシング」：など、学生のアイディア溢れる製品が完成しました。

昨年度から、農産物業者とメーカーや小売業者を繋ぐコンサルティング会社から外部講師を招き、指導を受けています。何と賞味期限は、常温で6ヶ月！最終回の7月14日には、静岡農業高等学校の高校生も授業に参加して、食物流学の学生と共に製品に仕上げました。試食会では、プレゼンテーションをした後、各班のドレッシングの味見をする「大試食会」を開催しました。次年度は、食物流学の学生が考案したドレッシングを、レストランで提供あるいは期間限定で販売することを予定しています。誇らしげにドレッシングを味見

する学生たちの笑顔が印象的でした。



8月5日(日)に開催されたイベント、おいしい夏まつりキッズ食育フェアで「エネリアでは、「いろいろな具で作ろう！おいしいマイおにぎり」という企画で参加しました。「真夏で猛暑の中、おにぎり？」と思っただものの、おにぎりは予定提供食数200食のところ270食と大盛況でした。来場者は206組、515名で予想以上の参加者でした。

炊いたお米の量は、7合炊きの釜で8回。ごはんは、白ごはんとわかめなどが入ったものを用意し、具材は①ツナマヨ、②おかか、③コーンバター、④枝豆と塩昆布、⑤鮭フレークの5種類です。人気があった具材は、定番中の定番「おかか」でした。午前中さっぱりだったものの午後からは大人気の「枝豆と塩昆布」が2番目でした。予定時刻の16:00を待たずにごはんがなくなりました。終了。多くのおにぎりを提供できた

のも、在学、卒業生および関係者の皆さんが協力してくれおかげです。本当にありがとうございます。

このように、食物流学では授業や学外でのイベントにおいて「地域との連携」を積極的に行なっています。今後も多方面で、「食」をキーワードに連携していく予定です。

(文責：前田・望月・寺嶋)

- ・マゴロ 冷蔵マゴロ水揚げ蟹日本一(清水産)
- ・なつお 漬物屋、生産屋、輸出屋とも日本一(焼津産) なつお納生産量は、校舎、別荘について第3位
- ・しらま 由比漁港・清水港・用宗漁港・大井川漁港
- ・枝豆 静岡市清水区三保・駒越地区で生産される「フジエス」ブランドが有名
- ・トウモロコシ
 - 遠州森町…甘太郎(かんたろうすめ)、甘太郎(かんたろう)
 - 井川地区西山平…ゴールドラッシュ
 - 伊豆の国市大川の中…田原野(とばの)とうもろこし



静岡英和学院維持協力会 《静岡英和フエロリーシツプ》

御挨拶

静岡英和学院維持協力会

会長 池田 恵一



常任理事会報告

2018年1月19日午後1時30分から、2017年度維持協力会臨時常任理事会が開催されました。

会議は、池田恵一会長が議長となり、左記の議案についてご審議をいただき、全員の賛成により承認されました。

第1号議案 英和キッズ・イングリッシュスクール事業の廃止について

(英和キッズ・イングリッシュスクールは2018年度から「朝日テレビカルチャー静岡スクール」で開講しています)

また、2018年6月18日午後1時30分から、2018年度第1回維持協力会常任理事会が開催されました。

会議は、池田恵一会長が議長となり、左記の議案についてご審議をいただき、全員の賛成により承認されました。

維持協力会は、学院がその教育方針と教育目的に基づき教育を行う将来に向かって発展を続けるために必要な経営基盤の確立に寄与すること、また教育環境の整備の向上を援助することを目的として発足しました。本会は同窓生や関係者の皆様のご協力を得ながら、学院を盛り上げてまいります。

2017年度 事業報告

英和キッズ・イングリッシュスクールの運営
事業費 219,490円

将来の国際人育成を目指し、早期から生きた英語に親しめるよう小学生を対象として英語教室「英和キッズ・イングリッシュスクール」を運営した。今年度は4年生クラスを復活させ、48名の生徒が入学し年間18回の授業を行った。

静岡英和学院維持協力会奨学金制度
事業費 0円

2017年度の利用者はいなかった。

●学院創立130周年記念事業補助
事業費 1,000,000円(補助)

学院創立130周年記念事業へ補助を行った。130周年

年記念ロゴマークを制作し、記念サイン看板を中学・高校・大学・短大部に設置した。また、11月25日には記念式典が行われた。

2017年度賛助会費納入者御芳名 (敬称略/順不同)

- 法人会員
静岡通信工業(株)
(株)西野造園
大成建設(株)静岡営業所
(株)白青舎 他

- 個人会員
宗 美江、川村佐知子
遠藤 良子、遠藤美知子
石田 雅巳、山西 章司
杉山 和子、池谷いずみ
安池 澄江、石井 滋
長坂 晃、上柳 靖 他

BBQパーティーの開催

昨年11月3日(文化の日)に大学設立以降の大学・短大同窓生BBQパーティーを開催しました。当日は快晴に恵まれ、約100名の同窓生とそのご家族に参加いただきました。在学生からも参加者があり大変にぎやかに交流を楽しみました。

大学時代の友人たちや先生と交流し、学生当時の話に花を咲かせていました。E.I.W.A.クイズ大会なども行い、懐かしい記憶を呼び起こすようなクイズを大変楽しんでいました。優秀者にはステーキ肉が進呈さ

れ、BBQに花を添えました。お子様連れで参加された同窓生も多く、お子様向けクイズ大会やパン食い競争を催し盛り上がりを見せました。特にパン食の競争はご好評をいただき、まだ歩くことができない子もパンをお母さんにとってもらいハイハイでゴールを目指してくれました。参加者皆さんが声援を送り、ほのぼのとしたイベントになりました。

メインであるBBQでは7台の大きな鉄板で、大量のおいしいお肉と焼きそばなどを焼き、満足するまで楽しみました。大学設立以降の若手同窓生の集まりとあって、お肉の調達に力を入れましたが、少し多すぎたのか焼きそばを作るまでに満腹になる方が続出しました。その他にも用意した「さけ」「おかか」などの定番おにぎりも好評で、なぜか担当幹事が発注していた変わり種「ねぎみそ」おにぎりも完食し、大満足のBBQでした。

開催には大学も協力くださり、会場はキャンパス内の芝生広場、駐車場や体育館などを使用しました。この日のために芝の刈り込みや、使用する机イスの準備などご尽力いただきました。今年も11月23日にBBQパーティーを企画しています。

BBQのお問合せ先は、事務局総務課まで。
(TEL)054-3333-9223
Eメール
h-sounmu@shizuoka-eiwa.ac.jp

静岡英和学院維持協力会役員等名簿 平成30年6月18日現在

役職名	氏名	選出根拠(規則第6条)
会長	池田 恵一	大学後援会長
副会長	大石 剛士	中高PTA会長
"	石田 律代	大学・短大部同窓会長
"	今井喜久枝	中高同窓会長
常任理事	柴田 敏	大学・短大部 学長
"	吉田 幸一	中高 校長
"	深沢 俊洋	法人事務局長
"	富田多嘉子	法人理事
"	木内 貴史	法人理事
"	川瀬 昌之	大学後援会副会長
"	齊藤 匡智	中高PTA副会長
"	榎戸 真弓	大学・短大部同窓会副会長
"	森田 拓子	中高同窓会副会長
会計	島本 千佳	大学後援会会計
"	金原 勝	中高PTA副会長
"	後藤真理子	事務局財務課係長
監事	若山真由美	大学後援会監事
"	矢部 英仁	中高PTA監事
顧問	石井 博文	法人理事長

中高同窓会

会長挨拶



同窓会長
今井喜久枝

さわやかな秋
晴の日、同窓会
役員会で英和に
出かけました。
英和ストリート
と名付けられた通りを歩いてい
ると、さわやかな掛け声のテニ
ス部の生徒さん達に落ち葉が舞
い降り、冬がもうすぐそこまで
来ていると感じます。いつの時
代も、努力を重ねる姿は青春の
輝きに満ちています。

本年も五月十二日に同窓会定
期総会を開催し、百八十人も
世代を越えた同窓生にお集まり
いただきました。礼拝は昭和五
八年卒業の武井裕賀里先生、奏
楽は平成十八年卒業の福井香先
生にお願いし、ご来賓として吉
田幸一中学校高等学校校長、短
大大学同窓会長の石田律代様、
中高PTA会長の伊藤郁夫様に
ご列席いただきました。吉田校
長先生からは、歴史ある母校の
女子校としての伝統を力強く宣
言していただき、長く交流を続
けている短大大学同窓会、英和
ファミリーの仲間として共に学
校支えているPTAを代表する
お二方からは、日ごろの中高同
窓会の活動にご理解と応援のあ
りがたいお言葉をいただきました。
昭和四十二年卒業の皆様でした。
三十五名が総会に参加され、同窓
会に献金もいただきました。また、
五月をもって支部会として

の活動を終了し、焼津地区に住
む同窓生有志の会として新たな
出発をした「山百合会」様から
も、支部会としての清算残金を
すべて献金していただきました。
総会に参加された方、お一人お
ひとりの献金と合わせて、同
窓会活動に役立てて参ります。

本年度の入試では、は中学、
高校ともに新入生を昨年より増
やすことが出来ました。吉田校
長先生をはじめ、先生方のご努
力の賜物でございますが、同窓
生からの「紹介も大きな力となっ
ております。2020年からの
英語入試制度の変更は『英語の
英和』にとって追い風です。母
校での英語教育がその後の人生
に喜びを与えたことを実感する
同窓生にとって、高いレベルの
英語力をつけることのできる英
和への入学を、いまこそ自信を
持つてお知らせの小学生にお
伝えください。そして、同窓会
に未来の「光り輝く英和生」を
ご紹介ください。

地震や台風の襲来など天変地
異が続いています。同窓生の皆
様の健康とご活躍をお祈り申し
上げます。

同窓会の学校支援

同窓会の学校支援のひとつに、
グッズの提供があります。
有名なのは「英和コーヒー」
と「英和紅茶」。先生方が生徒
募集の為の塾訪問に持参したり、
学校にお見えになったお客様に
さしあげることもあります。フェ
アトレード（コーヒーなどの換

金作物や伝統的な技術で生産さ
れた途上国の産品を、生産者か
ら直接、適正な価格で購入し、
先進国市場で販売する仕組）で
輸入された豆を使用し、産地にも
利益が還元されるように努め
ています。（左）

学校説明会で参加者にお渡し
しているのが、合格鉛筆。通称
『黄金鉛筆』です。「合格祈願
静岡英和女学院」と銘が入って
おり、塾訪問で小学生に差し上
げることもあります。英和を受
験する子供だけではなく、それ
ぞれ全員が目指す学校に合格で
きますようにという願いを込め
ています。（右）



文房具をフィリピンに寄付

『NPO法人グロス』様を通
じて、フィリピンの恵まれない
子供達に文房具を贈る奉仕活動
を始めました。今回、百名を超
える子供達にノートや鉛筆を差
しあげることができました。子
供達に贈る文房具は、同窓生の
皆様からいただいた献金で購入

しています。



富田多嘉子先生の「本

『静岡英和二十一世紀
初めの十二年』

富田 多嘉子 著

ミレニアムと大騒ぎをしたの
も今は昔となりました。二十一
世紀になったばかりの四月に静
岡英和高校の校長に就任された
富田多嘉子先生が、十二年間校
長（最後の二年間は理事長）と
して在任された間の英和の様子
をまとめられ、昨年に出版さ
れました。この十二年間の始め
二〇〇一年九月にはニューヨーク
貿易センタービル事件があり、
終わり近く二〇一一年三月に東
日本大震災がおきました。この
本は二十一世紀、初めの十二年
に起きた様々な出来事を織り混
ぜながら静岡英和の様子が綴ら
れています。
一章から九章まであり、最初
の六章までは、折々に、式典、
祈り、修養会、礎、かえでと続

き、七章から九章までは、日々
の朝の礼拝の抜粋となっています。
折々には、時々思いな
どを、式典礼拝ではそれぞれの
年齢に応じて、是非心に留めて
おいてもらいたいことなどが記
されており、祈り、修養会
礎、かえでは依頼に応じて寄稿
されたものです。最後の三章は
十余年の間、その時の時代の変
化に応じ、静岡英和がどう対応
したかが記され、当時在学して
いた学生などが読むと大変なつ
かしく中高時代が思い出される
ことと思います。本のあちこち
に英和生として生きるべき道に
ついてでも示唆する箇所があり
あなたの本棚に是非一冊加えられ
ることをお勧めします。全四五
〇ページ



富田先生から中高同窓会に六
十冊ほどご寄贈していただきま
した。一冊千円で販売し、その
収益は全額同窓会の収益となり
ます。購入後希望の方は学校事
務室までお問合せください。

同窓会のホームページを新しく
開設いたしました。アドレスは
<http://shizuokaewa-dosokai.com/girls-mshs/>です。Face
bookやInstagramも是非ご覧
ください。

大学・短期大学部同窓会

「縦糸と横糸を紡ぐ
静岡英和学院大学同窓会」



静岡英和学院大学同窓会 会長
安田成希（地域福祉学科4期）

この度、2018年6月23日「第46回 総会・懇親会」において同窓会会長に就任致しました四大出身の安田成希です。この場を借りて皆様にご挨拶申し上げます。

私が本学に入学した2005年4月は静岡英和学院大学が男女共学化となり4年目で、1〜4年生に男子学生がそろった年でした。キャンパスは学生であふれ、毎日活気に満ちていました。在学中から携わっていた同窓会活動も気づけば10年。男女共学後の英和生として同窓会長を務めるにあたっては、今後同窓会として縦糸と横糸をしっかりと紡ぎ、先輩後輩のつながりをより強固なものにし、こころを寄せ合える同窓会活動を展開していきたいと知恵を絞ってまいり

ます。どうか皆様も益々お元気で、同窓会会員として更なる活動躍進に向けてエネルギーを結集して頂ければ幸いです。今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

「平成30年度同窓会総会を終えて」

会長に就任して初めての総会が6月23日に開催されました。ご来賓の皆様をはじめ遠方からお越しいただいた同窓生の方々、同窓会活動に力を尽くしていただいた学内幹事（大学職員）の皆さん、貴重なご意見をお寄せ頂き感謝申し上げます。皆様の大学や同窓会に対する一途な思いを語って頂き身の引き締まる思いがしました。

そして今回、今の静岡英和学院大学を象徴する学生の皆さん（学友会スタッフ・吹奏楽団・ダンスサークル）を招待しました。同窓会総会に学生らを招待したのはいくつかの理由があります。数ある理由の中から3つ述べると

- ①卒業後も母校とつながりを持って活動に取り組めることを周知したい
 - ②同窓生として母校を愛し続けるために今の学生たちの活躍を知りたい
 - ③大学同窓会として対外的に活動している学生を支援したい
- があります。同窓会活動のやりがいは「母校が好き」という一言に尽き、それはすなわち英和生が好きということです。

私は総会後に行われた懇親会で彼らのパフォーマンスに触れ、一生懸命に取り組んでいる姿にかつての自分を照らし合わせながら「頑張れ！頑張れ！」と心の中で声援を送っていました。頑張っている英和生はとても輝いていました。私たち同窓会の役割は、学生生活を懸命に取り組んでいる彼女らを広く支援し、後に続く後輩たちの鏡となるようサポートしていくということも、その務めのひとつではないでしょうか。



「今でも懐かしい卒業アルバム」

20年、30年たった後でも、大学生生活を思い出すことのできる卒業アルバム。大学生活の友人、恩師、風景の思い出は丁寧な製本された卒業アルバムで見ると、懐かしさが返って増すような気がします。数年前、同窓会報の編集作業中に石田前会長と互いの卒業アルバムを見せ合ったことがあります。石田前会長が国文科4期、私が地域福祉学科4期、同じ4期ですが39年の開きがあります。校舎の増改築、かつてあった寮の移転場所、ずっと変わらない坂道など興味深く眺めました。歳は違えど同じ同窓

生である私たちは、池田山の学び舎で共に過ごした同志であることを嬉しく思い、心を一つにできたのです。私の恩師が卒業アルバムに書いて下さった詩があります。

「長い坂道、汗だくになって登りきる。見下ろせばそこに緑の街並み。あの夏の空、きらめく海も、毎日感じた青い風も、別々の道に進もうとも、決して忘れないだろう。」

静岡英和学院大学で過ごした日々は、いつまでも私たちの心に強く強く残っていく思い出なのだ。ページをめくるたびに胸に感じます。

石田律代前会長の功績は大きく、大学同窓会と大学、中高同窓会のみならずとを繋ぐ、太い絆を作ってくださいました。またクリスマンとして、信仰による導きもしてください、同窓会幹事が穏やかに行事をこなしていけたのも、石田会長のお手柄によるものが大きいと感じております。心より感謝申し上げます。

「歴史の重みに感謝し、さらなる発展を」

本学院はキリスト教精神に基づき、静岡の地において人材育成及び地域振興を展開し、130年を超える歴史があります。建学以来、母校の底流をなす精神は「愛と奉仕の実践」です。この想いを受け、青春の一時期を共に過ごし、この学び舎から巣立っていった同窓生は2万人を超え、地元社会はもとより全国ひいては国際社会に活躍の場を求めて羽ばたいています。

そんな同窓生の活躍は同志として嬉しい限りではありませんが、何よりも強く感じるのには現役学生の力強い取り組みです。昨年の130周年記念式典や前出の同窓会総会・懇親会では今まで以上に現役学生の皆さんが主体的あるいは補助的に力を発揮してくれました。今後の同窓会のみならず母校の将来にも明るいものを感じました。

私は同窓会会長就任以降「現役学生のために私たち同窓生は何ができるか」を基本において進めていく所存です。そしてそのために学生の皆さんとのコミュニケーションを大切にしていきたいです。今がまさにその契機の一つになると思うのです。

静岡英和学院大学が伝統、歴史の重みを誇りとし、明るい展望を持って来るべき140周年またその先へと実践を怠らず、何を伝えていくか、どのように繋げていくのか、学院と同窓会がともに考え協働して実践していくことを切に願います。重ねて会員の皆様方の積極的なご参加、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



事務局

寄付金等の募集について

昨年静岡英和学院は創立130周年を迎えました。長きに渡り本学院が静岡にて教育活動を進めることができたのは、卒業生の方々、保護者の方々、地域社会の皆様による、心からの熱い御支援と御協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

さて、本学院がこれから先、何十年、何百年と継続していくためには、より魅力ある教育と、それを支える教育環境を日々整えていく必要があります。

しかしながら、少子化による就学人口の減少、東京など大都市への人口流出など、地方の私立学校が直面している経営環境は大変厳しいものがあり、学院一丸となって経営の合理化などの努力をしておりますが、現状としては、その厳しさは年々増す一方です。

この状況の中で、より良い教育環境を整備するために、皆様方からの寄附金の重要性が非常に高まってきております。

つきましては、将来を担う学生・生徒に対して、より快適な学びの空間を提供し、より多くの優れた人材を社会に送り出すための支援策としての施設設備整備等のための「教育環境細微募金」や、使途の特定のない「かえで基金」を募っております。

すので、卒業生、保護者、地域社会の皆様からの熱い御支援、御協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

寄付金は所得・税額控除の対象となります。
同封の払込取扱票(ゆうちょ銀行用)を御使用になると便利です。

● 大学教育環境整備募金 (大学・短大部)

目的…多様で優秀な人材の育成を図り、大学としての社会的使命に応えるため、教育研究施設設備の整備充実や学生が安全で安心して学業に専念できる環境を整備する。

振込口座：静岡銀行 池田支店
普通 86790

口座名：静岡英和学院大学
学長 柴田 敏

● 中高教育整備募金 (中学・高校)

目的…校舎等の維持、改修を推進する一方で、医歯薬系コースやICT教育など特色ある学校づくりの実現と旧弊した校舎から21世紀型の新校舎に建て替えることで生徒の教育環境を向上させるインフラ整備に努める。

振込口座：静岡銀行

本店営業部
普通 0794250

口座名：学校法人 静岡英和学院

理事長 石井 博文

● かえで基金

目的…用途を定めない基金として平成26年度に新設。各学校の校舎改築への積立てに充てることを検討している。

振込口座：静岡銀行

本店営業部
普通 251469

口座名：学校法人 静岡英和学院

理事長 石井 博文



2018年度 学校主要行事表

静岡英和学院高等学校	4月7日(土)	始業礼拝・入学礼拝	静岡英和学院短期大学部	4月3日(火)	入学式
	3月26日(月)～8月12日(日)	メイプルプログラムカナダ5ヶ月留学		4月14日(土)～16日(月)	ステューデントトリート
	4月28日(土)	メイプルコンサート		5月23日(水)	地震防災避難訓練
	5月8日(火)～10日(木)	中3台湾スタディツアー		7月29日(日)、8月19日(日)他	オープンキャンパス
	5月9日(水)～16日(水)	高2カナダスタディツアー		10月3日(水)	火災防災避難訓練
	6月7日(木)	体育祭		11月10日(土)～11日(日)	楓祭
	9月7日(金)、8日(土)	英和祭・バザー8日(土)		11月21日(水)	創立記念礼拝
	11月26日(月)	第131回創立記念日		12月19日(水)	クリスマス礼拝
	12月22日(土)	学校クリスマス		1月31日(木)	一般入試A日程
	1月4日(金)	成人式(中高卒業生対象)		3月14日(木)	卒業礼拝
	1月12日(土)、26日(土)	中学校入学試験		3月14日(金)	卒業式
	2月5日(火)	高等学校入学試験			
	3月1日(金)	高3卒業礼拝・卒業記念パーティー			

◆ 理事会・評議員会

■平成29年9月25日

▼定例理事会・評議員会

・評議員の補欠選任について

・静岡英和学院寄附行為施行細則の一部改正について

・静岡英和学院常任理事行動規範の制定について

・静岡英和学院職員就業規則の一部改正について

・静岡英和学院高等学校中学校就業規則の一部改正について

・静岡英和学院職員倫理規程の制定について

・静岡英和学院教育休業に関する規程の一部改正について

・静岡英和学院評議員心得の制定について

▼評議員からの招集請求による臨時評議員会

議案として確定せず審議終了

■平成30年3月26日

▼定例理事会・評議員会

・学校法人静岡英和学院平成29年度第2回補正予算について

・学校法人静岡英和学院平成30年度事業計画について

・学校法人静岡英和学院平成30年度予算について

・積立金の取り崩しについて

・静岡英和学院事務組織及び事務分掌規程の改正について

・静岡英和学院大学学則の一部改正について

・静岡英和学院大学短期大学部学則の一部改正について

・静岡英和学院人間社会学部学科の福祉学科の収容定員の変更について

・静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部副学長の選任について

・静岡英和学院中学校・高等学校教頭への昇任について

・評議員の補欠選任について

・理事の補欠選任について

■平成30年5月28日

▼定例理事会・評議員会

・平成29年度決算の認定について

・中長期計画の進捗管理の実施について

・平成30年度第一回補正予算について

・評議員の補欠選任について

■平成30年7月30日

▼臨時理事会

・中長期計画の進捗管理の更新について

■平成30年9月10日

▼臨時理事会

・静岡英和学院大学学則の一部改正について

・静岡英和学院高等学校中学校校長選考委員会の設置について

・静岡英和学院院長候補者推薦委員会の設置について

◆ 寄付者ご芳名

〜ご寄付いただいた皆様〜

厚く御礼申し上げます

平成29年4月1日

〜平成30年3月31日

(敬称略/順不同)

御了解を頂いた方のみ掲載しております

◆ メイプルブックプロジェクト (11名)

18,183円

田村世志子、山田 正子 他

◆ かねて基金 (32名)

385,895円

村松 孝師、日本基督教団静岡協会、

遠藤良子、川村佐知子、遠藤美智子 他

◆ 130周年かえで募金 (71件)

880,000円

石井 博文、柴田 敏、高橋千津子、

ホームマルク紀子、前田 節子 他

〈静岡英和学院維持協力会〉

130周年記念事業補助

1,927,000円

平岡 浩、遠藤 仁、森 ちか子、

田部 誠之、岩瀬 信一、菅野 英信、

鈴木 敏弘、酒井 琢哉、大池 容美、

鈴木 実、三橋 葉子 他

◆ 中学・高校指定寄付

〈教育環境整備募金〉(17名)

1,293,000円

山崎 直樹、高月 逸子、蒔田 容子、

杉山 和子 他

〈その他施設関係〉

入学時任意寄付金(55名)

5,250,000円

バザー等収益金 15,153円

高3卒業記念 266,000円

2017年度PTA卒業生等積立金

5,182,000円

合計 20,237,231円

住所変更等は同封のハガキで!

学院にとって大切な財産である同窓生名簿をより適切に管理し、更には学院の発展に資するものとするため、法人事務局にて2012年度より名簿管理システムを導入し、一元管理しております。転居や結婚等で登録情報の変更が生じた場合は同封のハガキにてご連絡下さい。なお、以前ご案内いたしましたIDとパスワードにより、静岡英和学院同窓生専用サイト(https://eiwa.alumni.jp/)にて更新作業をすることもできます。ID等お忘れの方は法人事務局(054-333-9222)あてにご連絡いただけます。本人確認の上再発行することも可能です。

名簿は諸規定により適正に管理いたします。ご自身の個人情報のある方は左記あてに書面にてご連絡ください。(法人事務局 静岡市駿河区池田1769番地)

Maple Book Project

読み終えた本が母校を育む

不要になった書籍を寄付しませんか? 寄付された書籍は、社会へ還元されるとともに、静岡英和学院の教育・研究に役立てられます。

不要になった書籍を寄付しませんか?

本棚に収まりきらなくなった書籍、引越しや大掃除の際、大量の書籍の処分にお悩みになった経験はありませんか? 古本募金「Maple Book Project」は、それらの書籍を社会へ還元させるとともに、静岡英和の教育・研究に役立てられるプロジェクトです。ご自宅では書籍を段ボールに詰めるだけ。さらに5冊以上であれば、送料は無料です。

お申し込み方法

- STEP1 梱包** 不要になった書籍を段ボールに詰め、申込書をご記入の上、本と一緒に入れて下さい。
※段ボールが複数になる場合でも、申込用紙は一枚で構いません。
※5冊以上から、送料はかかりません。
※18歳未満の方は、保護者の方へお願いしてお申し込みください。
- STEP2 お電話** 提携会社 VALUE BOOKS 0120-826-292 に電話。「Maple Book Project」の申込みと、お伝えください。
●電話受付時間 月～土 / 10:00～17:00 ●宅配業者が指定の時間に伺います。
- STEP3 寄付** 提携会社 VALUE BOOKS にて、買い取られます。その買い取り金額は、「静岡英和」に寄付されます。

詳細、申込用紙等は法人事務局ホームページに掲載中 <http://shizuoka-eiwa.jp/>

編集後記

8月に本学院短期大学卒業生のさくらももさんが急逝されました。このことを受け、さくらさんのゼミ担任であった現代コミュニケーション学科の高橋清隆先生に追悼記事を書いて頂きました。さくらさんにとっての短期大学時代は、漫画家として一本立ちするかどうか、決断を迫られた時期だったかもしれせん。さくらさんに限らず、学生時代は、多くの人にとり人生の岐路の時期と言えるでしょう。そんな時に、英和の教育が心の支えとなってくれればと願います。